

～薬用作物の産地を育成してみませんか～

薬用作物(生薬)産地化推進のための 行政担当者情報交換会

令和6年

11月29日(金)

13:30～16:30

薬用作物産地支援協議会では需要が拡大している漢方薬の原料であり、また中山間地域等の活性化に期待されている薬用作物の国内での産地化に向けて行政担当向け情報交換会を開催します。

場所 AP東京八重洲 ROOM K
(KPP八重洲ビル11階)

- 東京メトロ銀座線
「日本橋駅」「京橋駅」徒歩約5分
- JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩6分



■ ■ オンライン同時開催 ■ ■

Web会議ツール「Zoom」を利用し、オンラインでも同時開催いたします。ご自身のパソコン、スマートフォン等でZoomミーティングに参加できる環境をご用意ください。(参考: <https://zoom.us/>)

(録画公開の予定はございません)

当日のプログラム

1. 挨拶 薬用作物産地支援協議会(主催者)
農林水産省
2. 北海道名寄市における薬用作物栽培
北海道名寄市役所 経済部農務課 農業振興係
係長 六郎田 直人 先生
3. 香川県三豊市における薬用作物栽培
香川県三豊市
市長 山下 昭史 先生
4. 意見交換会
薬用作物産地化に関するご質問 等
※講演内容ほか、事前にいただいた質問の質疑応答を含む
5. 名刺交換会(会場参加のみ可)

講演概要

名寄市経済部農務課 六郎田 先生

名寄市は古くから生薬原料の生産が盛んであったこと、加えて専門の研究機関が立地するなど薬草栽培に有利な環境に着目。平成25年に「名寄市薬用作物研究会」を設立し、生産者と関係機関が協力し薬草栽培振興に取り組んできた。これまでの活動と、設立後10年を経過しての現状と課題、課題に向けた取組について紹介。

三豊市市長 山下 先生

薬用作物の栽培を広げていくためには、生産者に対する栽培への『きっかけ』づくりと、『続けていく』ためのきめ細やかなフォローアップが大切であると考え、重点的に取り組んでいる。また、みとよ薬用作物生産組合を立ち上げ、生産性の効率化と栽培技術の向上を図り、三豊市はもとより香川県内全域の農業振興につながるよう取り組みを推進している。

※参加申込方法 : 薬用作物産地支援協議会HP(下記URL参照)の申込フォームからお申込みください

<https://www.yakusankyo-n.org>

申込締切: 令和6年11月21日(木)

オンライン参加の皆様へ
Zoomミーティングに関する詳細情報は、追ってメールにてお知らせいたします

主催 薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ先

薬用作物産地支援協議会
事務局 飯田



Tel: 03-6264-8087 Fax: 03-6284-2534
E-mail: event@yakusankyo-n.org